

2023年8月29日

「気候市民会議つくば2023 アイデア募集（夏休み特集）」結果の概要

気候市民会議つくば実行委員会

2023年の7月から8月まで、つくば市内に在住・在学している小学生～大学生までの、児童・生徒・学生を対象に、「ゼロカーボンで住みよいつくば市」とはどのような姿か、アイデアを広く募集しました。8月18日のべ切までに13件が集まりました。ありがとうございます。いただいたアイデア等は、別に実施した「アイデア募集」とあわせて、第1回市民会議の資料等として活用します。なお、気候市民会議第1回目(9月3日)の後にもアイデア募集を行う予定です。

AIで要約した内容の一端を共有いたします。AIの都合で表現されていないアイデア等もごさいますが、御了承ください。

1. 一人一人が電気や草木を大切に省エネを意識する。
2. 地球温暖化が進まないつくば市を目指す。
3. 空気が綺麗なまちにする。
4. 木々がたくさん生えており、二酸化炭素を吸収している。
5. 二酸化炭素を排出しない自転車や電気自動車が走るまちを目指す。
6. 燃料で動かされる機械や車を太陽光などのエコなエネルギーで動かせるようにする。
7. 電気自動車、水素自動車などの二酸化炭素排出しない自動車が走っている。
8. 公共交通機関が十分にあり、自転車専用の道路やレーンが整備されている。
9. 自家用車がなくても暮らすことができる人が多い。
10. AIが自動運転してくれる電気自動車がつくば市にたくさんあるような姿だと思う。
11. 太陽光発電パネルや風力発電の風車が多く設置されている。
12. 省エネルギー・節電が浸透しており、住居のほとんどは太陽光発電や太陽エネルギーでの給湯ができる。
13. 早めに寝て明るくなったら起きることで、電気の使用を少なくする。朝早く起きたら何かメリットになることがあるといいかもしれない。
14. リサイクルがしやすく、わかりやすく、石油製品はほとんど使われていない。

以上